

日 本自動車会議所は7月25日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で、第260回会員研修会を開催した。日本郵船(株)広報グループ社会貢献チームの田口亜希氏が「東京2020パラリンピックと共生社会の実現」と題して、自身の体験を交えつつ、障がい者にとってのスポーツの存在や、誰もが共生できる平等な社会の実現について講演を行った。参加者は約70名。

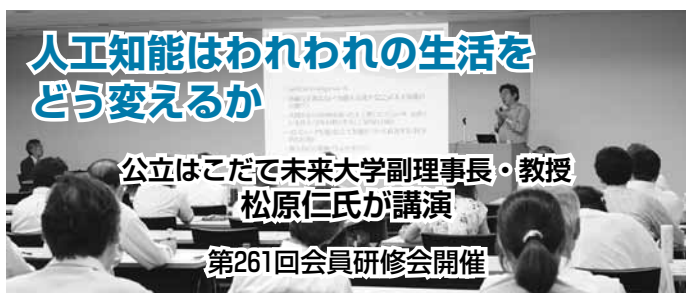
田口氏は、アテネ、北京、ロンドンと3大会連続



田口亜希氏

でパラリンピックにライフル射撃で出場し、現在はスポーツ庁参与や日本パラリンピアンズ協会理事など様々な役職にあり、全国各地で講演を行ったりと、精力的に活動をしている。

講演では「自身も車いすを使うまで障がい者用の施設の意味や重要性を理解していなかった。言葉で共生社会を教えることも大切だが、まず一緒に勉強したり、働いたり、スポーツしたりすることで、意識せず共生社会が生まれる」、「障がい者もクレームではなく、自分たちの経験を意見として発信し、意見を交わすことが改善につながり、お互いができることで助け合う共生社会が育まれるのでは」などと語った。



日 本自動車会議所は8月30日、東京・港区の日本自動車会館「くるまプラザ」会議室で第261回会員研修会を開催し、公立はこだて未来大学副理事長・教授の松原仁氏が「人工知能はわれわれの生活をどう変えるか」と題して講演した。参加者は約60名。

松原氏は、人工知能学会会長、情報処理学会理事、観光情報学会理事等を歴任し、現在は、はこだて未来大学で後進の育成に力を注いでいる。また、その傍ら、株式会社未来シェアの代表取締役社長の役職



松原仁氏

にあり、人工知能研究の第一人者として、その普及・発展に努めている。

講演では、人工知能の歴史解説からはじまり、コンピュータに俳句や小説を書かせたり、将棋のプロ棋士と対戦させたり等、自身の研究の苦勞や体験談を交えて語った。続いて、自身が代表を務める未来シェアのAIを活用したSmart Access Vehicle Service(オンデマンド・リアルタイム乗り合い配車)の取り組みについて、全国で展開中の実証実験の事例等、紹介した。最後に「現在、人間が人工知能から学ぶ時代になりつつある。これからは人間と人工知能が役割分担し、「人間+人工知能」として賢くなっていく(人間の概念が拡張されていく)」とまとめ、講演を締めくくった。

訃

報

横浜ゴム元社長
(当会議所元理事)

本山 一雄氏

横浜ゴムで社長、会長を務められた本山一雄氏が7月13日、逝去された。93歳だった。本山氏は社長時代の1987年6月～1993年6月まで当会議所の理事を務められた。

ダイハツ自動車販売店協会元会長
(当会議所会員元代表者)

三宮 清一氏

ダイハツ自動車販売店協会元会長の三宮清一氏が7月23日、逝去された。94歳だった。三宮氏は同協会のほか、大阪軽自動車協会会長や日本自動車連盟(JAF)関西本部長などを務められ、関西の自動車業界の発展に貢献された。